



北信太駅前整備基本計画 (概要版)

ー使いやすく住みやすい 和泉市北の玄関口のまちづくりー



平成 31 年 3 月

和泉市

※本計画では、平成 31 年 5 月以降の元号についても、便宜上「平成」としています。

1. はじめに

和泉市では、平成28年8月に「第2次和泉市都市計画マスタープラン」を策定し、第5次総合計画で設定した将来都市像「未来に躍進！活力と賑わいあふれるスマイル都市」をめざし、まちづくりを進めています。

JR 阪和線の北信太駅は、大阪市内方面からの来訪者にとって“北の玄関口”となる駅ですが、北信太駅前線や駅前広場が未整備であり、バス交通などの交通結節機能やアクセス性に課題があるほか、駅前駐輪場の耐震の問題や自由通路のバリアフリー化など、様々な地域課題があります。

当該駅周辺地区は、地域拠点のまちづくりや資源を守り活かしたまちづくりなどを目指すことと位置付けられていることから、魅力ある駅前の機能形成に向けた取組を実践するために整備基本計画を策定するものです。

1.1 本計画の目標年次

本計画の目標年次は、都市計画マスタープランにおける目標年次などを踏まえて、長期目標を平成45年度（2033年）とします。また、短期目標・中期目標の設定により、段階的に計画を推進していきます。



1.2 計画の策定体制

本計画の策定にあたっては、北信太駅周辺地区の校区会長（信太校区・鶴山台北校区・鶴山台南校区）や信太校区の各町会長をはじめとした地域の方々などで構成された「JR 北信太駅周辺地区まちづくり懇談会（以下、懇談会）」を設置し、ファシリテーター役として学識経験者を交えて議論を重ねました。

また、市では関係各課との庁内検討会議も行い、これらの議論を通じて、計画策定を行いました。

さらに、駅周辺地区の住民の皆様からの幅広い意見等を計画に反映するためのアンケート調査や自由通路及び駅周辺の駐輪場において利用実態調査を実施し、計画策定に活用しています。

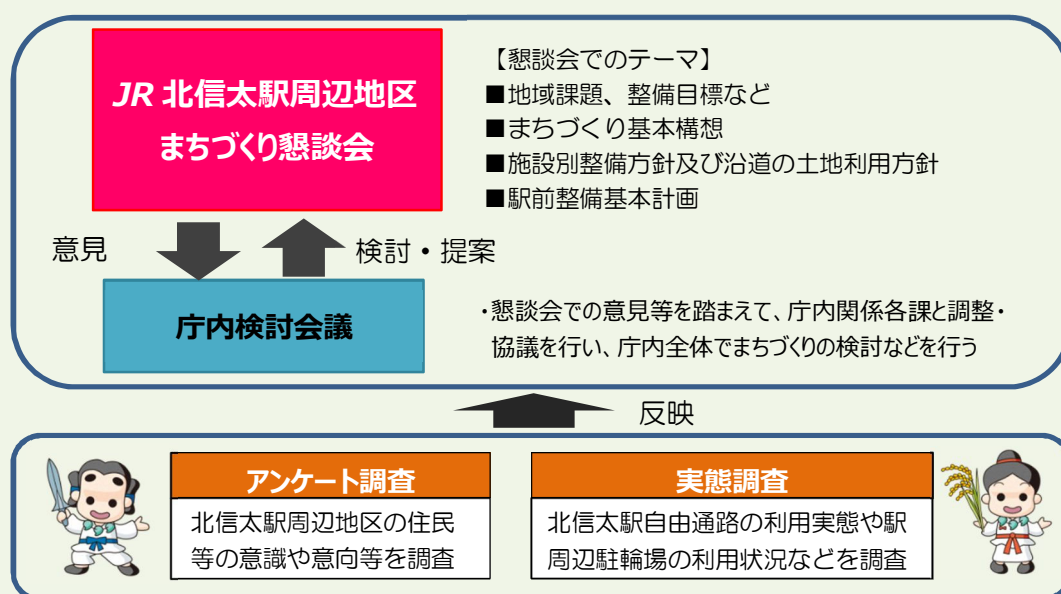


図 計画の策定体制

2. 対象地区の概況

ー計画対象地区ー



地区の変遷

北信太駅周辺は、和泉市域における郊外型宅地開発のさきがけとなった住宅地です。現在でも開発当時の面影をよく残しています。



都市計画道路の概要

- ・道路名称：北信太駅前線
- ・当初決定公示日：S41.4.11
- ・最終変更公示日：H18.3.17
- ・総延長：1,290m
(内、未整備：188m)
- ・幅員：20m
- ・駅前広場面積：3,000㎡

地区の概況

北信太駅前では、都市計画道路である北信太駅前線及び駅前広場が未整備であるため、交通動線が輻輳して危険な状況であるとともに、バス停が駅から離れているなど、アクセス性が不便で交通結節機能が不十分です。

また、東西自由通路のバリアフリー化や市営駐輪場の老朽化及び耐震の問題など、様々な問題を抱えています。

地区の歴史

北信太駅の南東には和泉市史跡の信太貝吹山古墳が立地しており、南西には葛の葉伝説で知られ、和泉市指定天然記念物のクスの巨木もある葛葉稲荷神社が立地しています。



信太貝吹山古墳



葛葉稲荷神社のクス

上位関連計画

「第2次和泉市都市計画マスタープラン」において、北信太駅周辺は、将来都市構造として、日常生活や地域コミュニティの核となる都市機能が立地する「地域拠点」として位置付けています。

また、「和泉市立地適正化計画」では、医療・福祉・子育て支援・商業等の都市機能の集約を誘導する拠点である、「都市機能誘導区域」として設定されています。



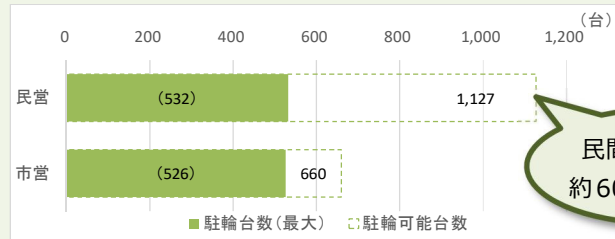
3. 北信太駅周辺実態調査

3.1 北信太駅周辺駐輪状況調査

各駐輪場の空き状況は、北信太駅前自転車等駐車場（市営駐輪場）を除く計7駐輪場で計約600台の空がある状態でした。また、駅から距離が離れると、駐輪場の利用率が低くなることがわかりました。



写真 北信太駅前自転車等駐輪場



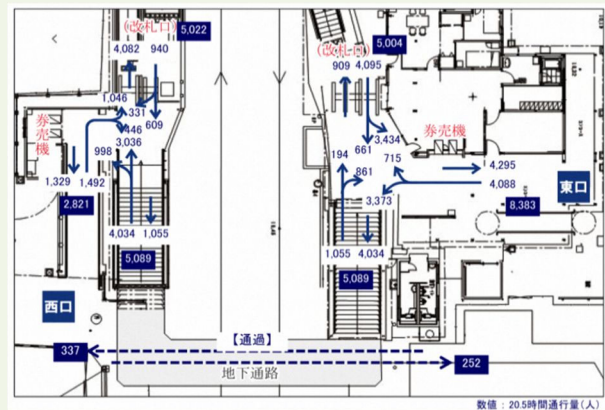
民間駐輪場には
約600台分の空き

調査日時：平成29年10月18日(水) 7:00~19:00

図 駐輪場の駐輪可能台数及び駐輪台数(最大)

3.2 北信太駅自由通路利用調査

北信太駅の1日の利用者数は、天王寺方面が約8,000人/日、和歌山方面が約2,000人/日でした。時間帯別の通行量をみると、東西自由通路の通行者数は約5,000人/日で、朝の通勤・通学の時間帯(7-8時)において、東側から西側への通行が一番多いことがわかりました。

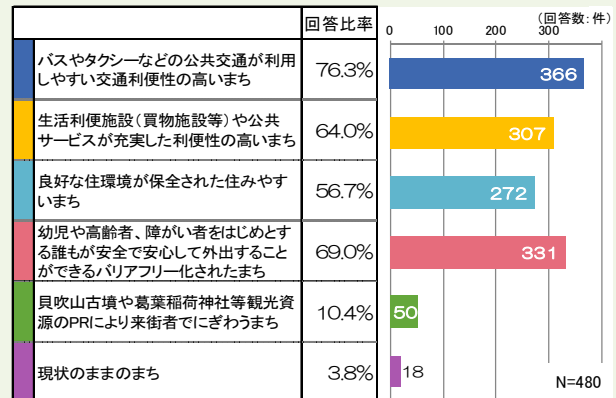
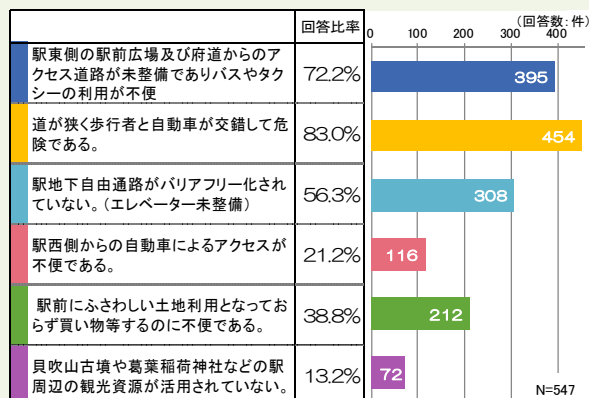


調査日時：平成29年10月18日(水) 4:30~25:00 (20.5時間)

図 北信太駅方面別通行量

4. 北信太駅周辺住民意識調査

北信太駅周辺の住民に対するアンケートの結果、駅へのアクセス性向上や安心・安全な道路空間等についての関心が高いことがわかりました。



※無回答除く

調査期間：平成29年10月17日(火)~11月1日(水)

図 北信太駅周辺の問題点(左)とまちづくりのイメージ(右)(それぞれ上位3項目を複数選択)

5. 北信太駅周辺の問題点と課題

地区の現況や地域住民へのアンケート、懇談会等で得られた地域住民の方々の声やニーズ等を踏まえたうえで、以下の6つの課題を抽出しました。

課題

安心・安全に利用できる駅前空間の整備

- 1 現状のアクセス道路は幅員が狭くて危険
- 2 駅前周辺は駅利用者と自転車、送迎車両等が輻輳して危険
- 3 計画対象地区周辺で交通事故が発生

課題

快適に地域公共交通を利用できる交通結節機能の向上

- 1 現状のアクセス道路は道幅が狭く公共交通が乗り入れられない
- 2 バス停やタクシー乗り場がない
- 3 路線バスは北信太駅から約300m離れた北信太駅前筋停留所までの運行
- 4 都市計画道路である北信太駅前線が未整備

課題

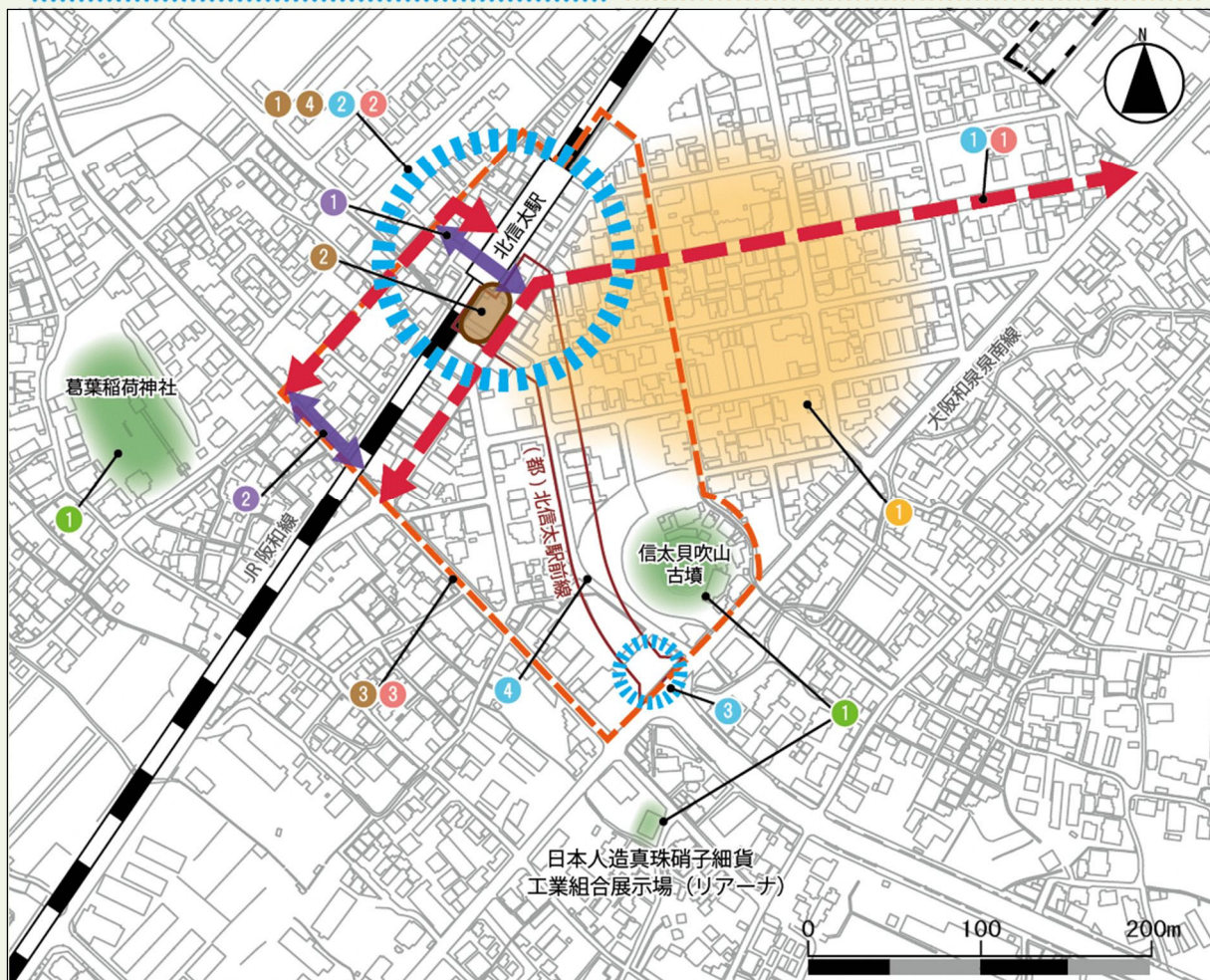
安全で円滑に移動できる自由通路の整備

- 1 自由通路がバリアフリー化されていない
- 2 自由通路の防犯面から通学路として踏切を通行する必要がある

課題

駅前空間の安全性・利便性を考慮した駐輪場の計画

- 1 駅前の空き地に不法駐輪がみられる
- 2 市営駐輪場は老朽化及び耐震上の問題がある
- 3 北信太駅周辺の自転車駐輪場で、合わせて約600台分が空き状態
- 4 北信太駅前では、駐輪場を利用する自転車と歩行者や自動車が輻輳して危険



課題

地域の活性化につながる地域資源の活用

- 1 信太貝吹山古墳や葛葉稲荷神社、日本人造真珠硝子細貨工業組合展示場などの地域資源の更なる活用が必要

課題

活気があふれ、人が集まり、生活しやすい住環境の創出

- 1 日常生活に必要な生活利便施設の立地が少ない

6. 整備方針

計画対象地区の概況や住民アンケート調査結果から分かった住民の方々の意向を踏まえて抽出した課題に対して、整備コンセプトを実現するための4つの整備方針を設定しました。また、各整備方針に対して、具体的な取組を検討しました。



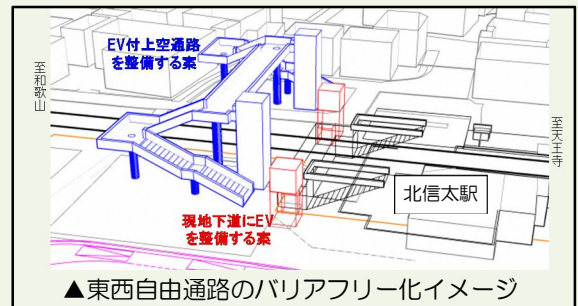
図 整備方針に応じた取組み

7. 施設別整備計画

7.1 駅前広場周辺の整備

約 3,000 m²の都市計画決定区域をベースとして、必要施設の配置計画を行いました。

- 公共交通によるアクセス性向上のため、バス・タクシー乗降場を設置
- 広場に接続する周辺街路において一方通行化や歩行者優先の道路空間にすることで通過交通の抑制を検討
- 東西自由通路のバリアフリー化は現地下通路にエレベーターを設置する方法と、エレベーター付き上空通路(歩道橋)を新設する二つの方法を検討
- 駅西側には歩行者空間や駐輪施設の設置を検討
- 駅利用者の待ち合わせのためのオープンスペースを確保



注) この図面は、各施設計画の配置及び道路区域をイメージしたものであり、今後の測量及び設計、また、関係各機関との協議などにより、変更される場合があります。

7.2 北信太駅前線及び周辺道路の整備

駅前広場へのアクセス道路となる北信太駅前線については、円滑な車両（自動車・自転車）の走行空間と安全な歩行者空間を確保します。さらに、北信太駅前線の道路整備によって、幅員の狭い現在のアクセス道路に流入していた通過車両を抑制し、地域の安全性の向上を図ります。



注）この図面は、各施設計画の配置及び道路区域をイメージしたものであり、今後の測量及び設計、また、関係各機関との協議などにより、変更される場合があります。

7.3 市営駐輪場の建替え

市営駐輪場は老朽化及び耐震の問題などもあり、建替えの必要があります。建替えにあたっては、駅前で自転車と自動車、歩行者が混在している状況を考慮し、駅前広場の整備と整合を図りながら、駅前空間の安全性・利便性の向上を図るとともに適切な立地と需給バランスを考慮した施設規模を検討します。

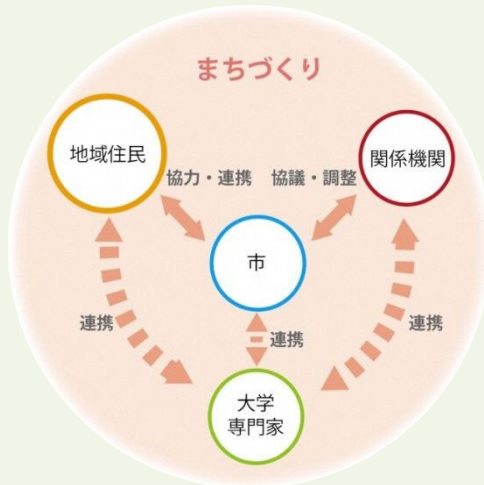


注）この図面は、各施設計画の配置及び道路区域をイメージしたものであり、今後の測量及び設計、また、関係各機関との協議などにより、変更される場合があります。

8. 事業推進方法

8.1 事業推進にあたっての連携体制

事業推進にあたっては、市が中心となり、地域住民や関係機関などをはじめとした地域の方々の協議を経て、整備を進めていきます



8.2 整備方針とスケジュールの関連性

整備方針のうち、地域が抱える問題を解決するために、まず、住民生活の基本となる道路等の基盤整備が求められます。そこで、「方針 1」や「方針 2」に関連する、インフラ整備を早期に進めていきます。

そのうえで、住民生活の豊かさや地域の魅力をより向上させるために、住民の方々や民間事業者と協力して、「方針 3」や「方針 4」に基づく取組を継続的に進めていきます。



8.3 整備のスケジュール

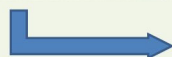
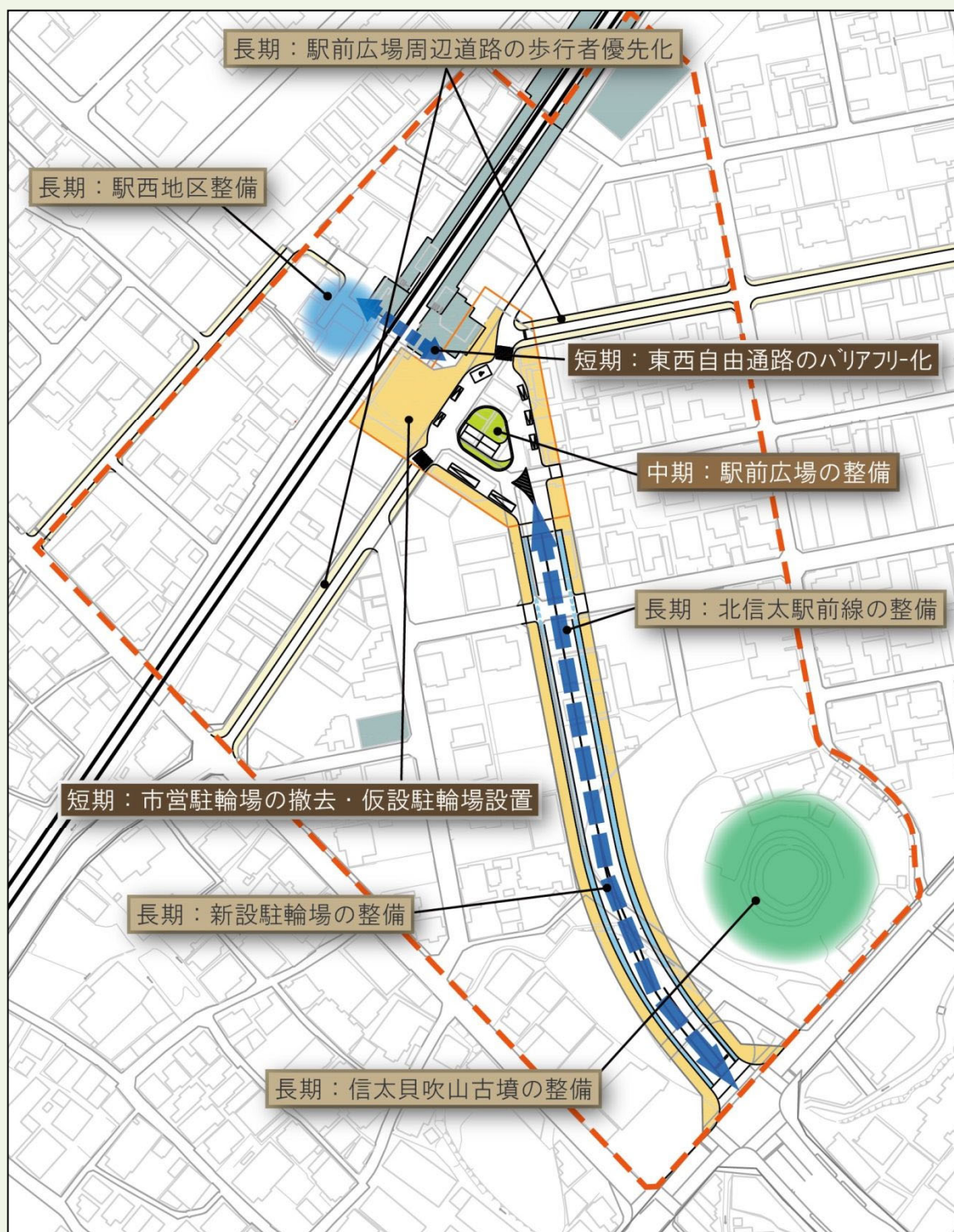
本計画での各事業においては、市の担当各課が中心となって、関係機関などと調整を図りながら、円滑に事業を進めていきます。

表 各事業のスケジュール

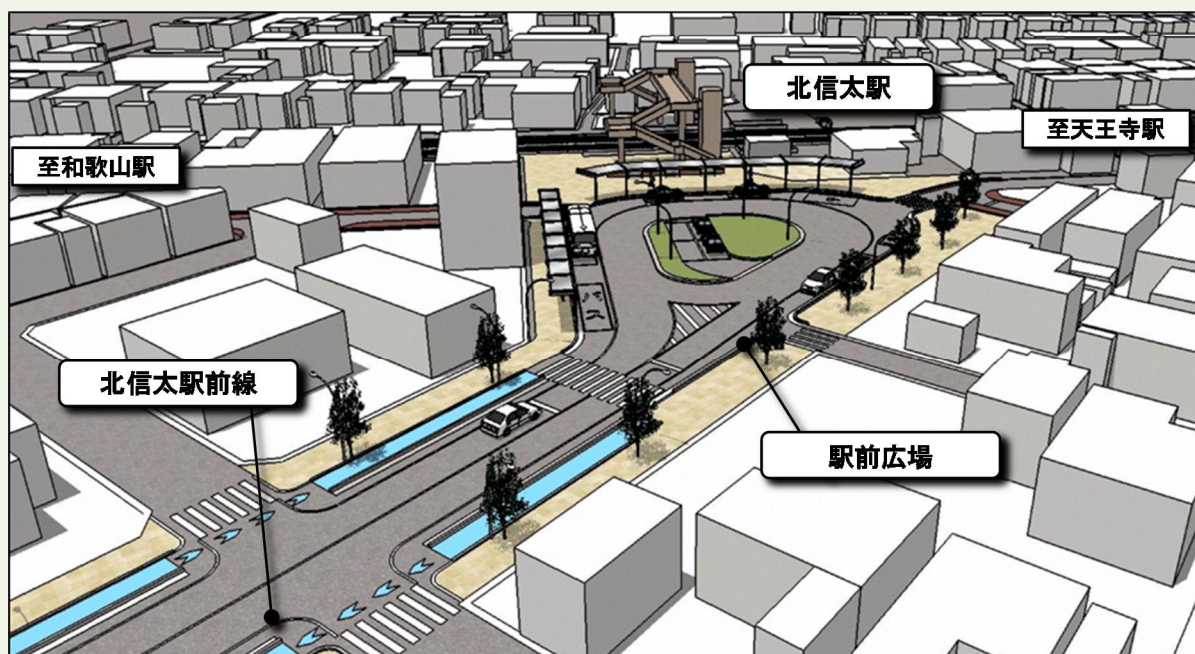
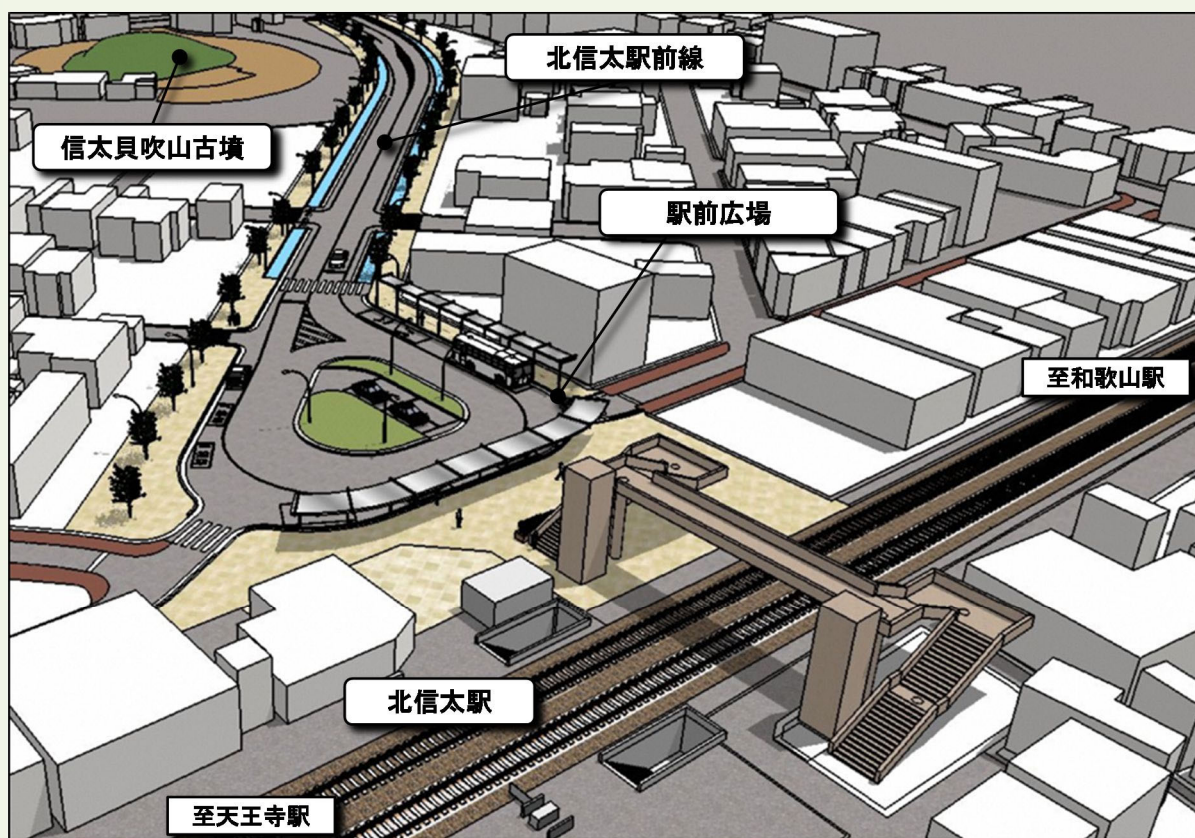
事業	短期 期間 5 年間	中期 期間 5 年間	長期 期間 5 年間	将来
駅前広場の整備	用地取得・関係機関協議	整備工事		
北信太駅前線の整備		用地取得・関係機関協議	整備工事	
駅前広場周辺道路の歩行者優先化		関係機関協議・整備		
東西自由通路のバリアフリー化	用地取得・整備工事			
市営駐輪場の建替え	仮設駐輪場設置→市営駐輪場撤去		用地取得・新設駐輪場整備	
駅西地区周辺整備		用地取得・関係機関協議	整備工事	
信太貝吹山古墳の整備				
商工・観光関連施策		整備状況に応じて施策を検討		
まちづくり関連（都市計画変更の検討）		整備状況に応じて都市計画変更を検討		

※事業実施の際には、関係機関との調整により、見直し・変更となる場合があります。

9. 整備イメージ



整備イメージパース



注) この図面は、整備イメージを示したものであり、整備内容や周辺状況などは実際とは異なります。
 本整備イメージは、自由通路を上空通路とした場合を想定したもので、決定したものではありません。
 また、上空通路の整備とした場合、現在の地下道は閉鎖となる可能性があります。



和泉市



【お問い合わせ】

和泉市 都市デザイン部

道路河川室（内 1476） E-mail : douka@city.osaka-izumi.lg.jp

都市政策課（内 1431） E-mail : tosei@city.osaka-izumi.lg.jp

TEL : 0725-41-1551（代表） ／ FAX : 0725-43-1348



（発行日：平成 31 年 3 月）